

総理大臣杯争奪「第46回西日本実業柔道団体対抗大会」
対戦記録と戦評

女子の部

バーミンガム世界選手権のチャンピオン手島がミキハウス、ダイコロの元レギュラー選手を集めて結成したワイエスフードとミキハウスの欠場で今年こそ悲願の初優勝と意気込むダイコロとの決勝戦となったが、ワイエスフードが接戦の末、2 - 1でダイコロを降して、初出場、初優勝。ダイコロは、またも涙を飲む。

近畿選手権第3位の白井を擁する初出場の立命館柔道クラブは、順調に勝ち上がるも、準決勝戦でダイコロの堅陣の前に決勝戦進出を阻まれた。

【第1回戦】

近大クラブ	1	-	十全会回生病院B
(先鋒) 松浦早江子 3段		引分	枝村聡子 2段
(中堅) 木村弥生子 2段		袈裟固	原 みずえ 3段
(大将) 天野久光子 初段	☉	優勢勝	吉村美恵子 2段

【第2回戦】

ダイコロ	2	-	1 日柔整請求サービスA
(先鋒) 内田愛美 2段		支釣込足	渡辺華廉 初段
(中堅) 近藤悦子 2段		袈裟固	伊福涼子 2段
(大将) 林 里実 2段	☉	優勢勝	辻本温子 2段

仁康会小泉病院	2	-	1 関西医療学園附属接骨院
(先鋒) 山中由香 2段		横四方固	大野衣美 初段
(中堅) 唐沢 理 初段		大内刈	條谷 渚 初段
(大将) 竹内純理 2段		優勢勝 ☉	平田育恵 2段

日本エースサポート B	1	-	2	十全会回生病院 B	
(先鋒)	山口与佳	2段	優勢勝	⊖ 枝村聡子	2段
(中堅)	楯岡幸恵	初段	袈裟固	原 みずえ	3段
(大将)	黒川真央	2段	⊖ 優勢勝	吉村美恵子	2段

タカメディカル A	不戦勝	立命館柔道クラブ
-----------	-----	----------

タカメディカル B	不戦勝	ワイエスフード
-----------	-----	---------

日本エースサポート A	3	-	0	錦秀会阪和病院	
(先鋒)	棚橋由紀	初段	横四方固	黒木加奈	初段
(中堅)	北野竜子	2段	縦四方固	愛場 香	初段
(大将)	中井由佳	3段	内股	神野 恵	2段

十全会回生病院 A	0	-	2	大阪鳳林医療学院	
(先鋒)	益田淳子	2段	引分	井上美果子	2段
(中堅)	末廣彩歌	3段	横四方固	小松 瞳	2段
(大将)	萩原美和子	2段	優勢固	⊖ 近藤麻美	2段

日柔整請求サービス A	0	-	3	K - R e f i n e	
(先鋒)	花澤 直		払腰	児玉久美	3段
(中堅)	酒井玲子	初段	横四方固	上村美恵	2段
(大将)	加瀬みゆき	初段	不戦勝	南 千草	3段

【準々決勝戦】

ダイコロ	3	-	0	仁康会小泉病院
(先鋒)	内田愛美 2段	⊖	優勢勝	山中由香 2段
(中堅)	近藤悦子 2段		袈裟固	唐沢 理 初段
(大将)	梅上智紗 初段		縦四方固	竹内純理 2段
十全会回生病院B	0	-	3	立命館柔道クラブ
(先鋒)	枝村聡子 2段		優勢勝	⊖ 奥田朋子 3段
(中堅)	原 みずえ 3段		合せ技	小野裕美 2段
(大将)	吉村美恵子 2段		大外刈	白井 愛 3段
ワイエスフード	2	-	1	日本エースサポートA
(先鋒)	植田裕子 3段		払腰	棚橋由紀 初段
(中堅)	手島桂子 3段		袈裟固	北野竜子 2段
(大将)	難波知美 2段		優勢勝	⊖ 中井由佳 3段
大阪凰林医療学院		-	1	K - R e f i n e
(先鋒)	井上美果子 2段		引分	児玉久美 3段
(中堅)	小松 瞳 2段	⊖	優勢勝	上村美恵 2段
(大将)	近藤麻美 2段		優勢勝	⊖ 南 千草 3段
(代表)	近藤麻美 2段		払腰	南 千草 3段

【準決勝戦第1試合】

	ダイコロ	2	-	1	立命館柔道クラブ
(先鋒)	内田愛美	2段	小外刈	奥田朋子	2段
(中堅)	近藤悦子	2段	上四方固	小野裕美	2段
(大将)	梅上智紗	初段	上四方固	白井 愛	3段

先鋒戦。内田左、奥田右の喧嘩組み手、開始40秒、内田内股で有効を奪い、優勢に進める。開始2分、内田内股から逆モーションで小外に入れば、奥田背中から落ちて、一本。

中堅戦。長身の近藤、前に出て大内、小外で攻める。開始59秒、大内刈りで効果を奪い、そのまま横四方から上四方に押さえ込み、一本。

大将戦。序盤は小柄な梅上は体格に勝る白井相手に奮闘する。しかし、白井は2分過ぎ、梅上がうつ伏せになったところを巧みに返し、上四方固めに押さえ込む。

立命館柔道クラブは初出場で奮戦するも、今年こそは優勝をねらうダイコロの前に敗れる。

【準決勝戦第2試合】

	ワイエスフード	2	-	0	大阪鳳林医療学院
(先鋒)	植田裕子	3段	引分	井上美果子	2段
(中堅)	手島桂子	3段	上四方固	小松 瞳	2段
(大将)	難波知美	2段	袈裟固	近藤麻美	2段

先鋒戦。植田右、井上左の喧嘩組み手、奥襟を引いて攻める植田に対して井上は背負投で応酬するも、両者ともに決め手なく、2分36秒両者指導、引分けに終わる。

中堅戦。きびきび動く手島、開始早々背負いで有効を奪い、そのままけさ固

めから上四方に押さえ込む。

大将戦。両者ともに大型選手、開始 30 秒、難波払い巻き込みに攻めれば、近藤崩れる。そのまま袈裟固に押さえ込み、一本。

手島を中心に地力のあるワイエスフードが着実に勝ちを収め、決勝に駒を進めた。

【決勝戦】

昨年 15 連覇を成し遂げたミキハウスは、所属先の団体戦不出場方針を受けて本大会欠場。常勝チームを欠き、少し寂しい大会となったが、その代わりオールドファンには懐かしい選手からなる新チーム出場やフレッシュな新社会人でチームを編成した初出場チームが会場を沸かせた。

決勝戦は、共に順調に進出したダイコロ対ワイエスフードとの対戦。

	ダイコロ	1	-	2	ワイエスフード
(先鋒)	内田愛美	2 段		上四方固	植田裕子 3 段
(中堅)	近藤悦子	2 段		裏投	手島桂子 3 段
(大将)	梅上智紗	2 段		合せ技	難波知美 2 段

先鋒戦。内田左組み、植田右組みの喧嘩組み手。試合は、一本背負で内田をつぶし、寝技で覆いかぶさる植田の攻勢で始まるも、徐々に上背で勝る内田が内股、足払で植田を追い込み、中盤には攻守が逆転する。3 分過ぎ攻撃の止んだ植田に指導 1。その直後、内田の足払で膝を着いた植田が伏した姿勢から関節を取ろうと、内田の腕を挟んで体を開いた瞬間、仰向けになった植田を内田が上から制し、残り 2 3 秒、横四方に固める。その後崩上四方固に転じ、そのままブザー。内田貴重な先取点を上げる。

中堅戦。共に右組みの両者だが、試合は、体格の勝る近藤が手島の奥襟を取って、大外刈、内股で攻め、手島がこれを防ぐ攻防で始まる。1 分過ぎには、場外際、近藤の巻き込みで転がされた手島だが、場外判定で危うく難を逃れる。その後は、手島が背負投、組み際の大外刈で攻めるも、両者譲らず見ごたえのある攻防が続く。残り 4 9 秒、近藤が強引に肩越しから手島の右腕を抱え込ん

で大外刈を仕掛け、そのまま巻込みに移行する瞬間、手島は近藤の背中に回りこんで腰を両腕で抱え込み、裏投で真後ろに身を捨てると、近藤背中から畳に打ち据えられる。手島、乾坤一擲の捨て身で勝負をタイに持ち込む。

大将戦。梅上右組み、難波左組みの喧嘩組み手。組み手の攻防から十分に組み止めた難波が、39秒、払釣込足気味に梅上の右足を払うと、梅上は難波の足下に沈み、技あり。難波はそのまま覆いかぶさるように横四方固で押さえ込んで「一本」。練習不足を感じさせた難波だが、倍近い体重差をうまく生かし、勝負を決める。

両者実力伯仲、中堅戦の一瞬の攻防が明暗を分けた。チームは変われども選手は変わらず。昨年までのミキハウス対ダイコク戦の光景を彷彿させるが如き複雑な思いを抱かせる決勝戦であった。